

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 認定

回復期リハ看護師認定コース



2026 年度開講 第 19 期 開催のご案内

＜重要：必ずご確認ください＞

- ①1クール・6クールのみ、「会場開催」といたします。
全ての日程、開催場所につきまして、必ずご理解・ご了承の上、お申し込みをよろしくお願い申し上げます。
- ②2026年度より、「先着順」ではなく、申込の際にご入力頂きました内容を総合的に判断し受講可否を決定させていただきますので、ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。
- ③2026年度受講者より、認定合格要件が変更となります。修了試験が追加され修了試験と活動実践レポート評価結果の総計が70点以上の評価を得ることが認定合格の条件となります。

問合せ先 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9 階
FAX : 03-5281-8535 E-mail : kaifukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
2026年度 回復期リハ看護師認定コース
第19期 開催概要

回復期リハビリテーション看護師認定コースは、回復期リハビリテーション病棟において、以下の活動を行うことのできる看護師を育成することを目的としています。

【目的】

- ①回復期リハビリテーションサービスの対象者及びその家族に対する質の高い看護の提供
- ②回復期リハビリテーション病棟における多職種との協働とチームアプローチの実践
- ③回復期リハビリテーション病棟における個人、集団、組織に対するリスクマネジメント

【認定要件及び認定証】

次の①～④の要件をすべて満たしている人を回復期リハビリテーション看護師認定コース修了者として認定します。

- ①回復期リハ看護師認定コースの全研修会日程に出席すること。
- ②認定コース最終日の修了試験を受審すること。
- ③全研修終了後、本会の会員病院の回復期リハ病棟で行った、4ヶ月以上の活動実践についてレポートをまとめ提出すること。
- ④修了試験と活動実践のレポート評価結果の総計が70点以上であること。

※上記認定要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

開催概要

①開催期間

2026年度は、1回3日間の研修を1年間に6回開催、合計18日間の研修を行う予定です。

1・6クールは、会場開催、2～5クールは、Web開催となります。

第1クール:2026年8月24日(月)～8月26日(水):**会場開催 ※初日オリエンテーション 9:30～**

第2クール:2026年9月24日(木)～9月26日(土):**Web開催**

第3クール:2026年10月22日(木)～10月24日(土):**Web開催**

第4クール:2026年11月26日(木)～11月28日(土):**Web開催**

第5クール:2026年12月17日(木)～12月19日(土):**Web開催**

第6クール:2027年1月20日(水)～1月22日(金):**会場開催 ※最終日に試験を実施**

各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。(基本:9:00～最長18:00頃予定)

②定員:120名(先着順ではありません)

③開催場所・開催方法

会場:会場およびWEB開催

1・6クール:三田 NNホール&スペース 東京都港区芝 4-1-23 三田 NNビル地下1階

<https://mita-nn-hall.com/access>

<会場開催>

参加者は全員会場に集合してご参加いただきます。(ハイブリッド開催ではございません)

2～5クール:Web開催

<Web開催>

※ZOOMを使用し開催いたします。上記期間、プログラムにあわせて受講者の皆様は、ZOOMへ入室頂きご参加頂く形になります。

<注意事項:必ず以下ご確認ください。>

①当日は、可能であれば、「有線接続」を推奨します。無線接続(Wi-Fi)の場合は、遅延、画面のフリーズ、オーディオ音質が悪い、または ZOOM ミーティングが切断される問題が発生する可能性があります。

②各受講者1台の PC で ZOOM を通じて参加する必要があり、他の受講者とともに1台の PC で受講することは認められません。(※携帯電話やタブレットでの受講は禁止です。必ず室内で受講して下さい。)

※プログラムや詳細の連絡は、開催日初日(8/24)の約2ヶ月前(予定)までにはご連絡します。

2026年度 研修費用:200,000円

※自己都合によるキャンセルは、キャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規定についてお読みください。

※18日間の研修受講料・テキスト代・認定証授与式代を含みます。

④応募要件:次の①～⑦の要件をすべて満たしている者<必ず事前にご確認をお願いします>

※以下必ずすべてを満たしていることをご確認いただき、申し込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

- ①日本国の看護師の免許を有すること
 - ②当協会の会員施設(準会員施設を含む)に所属していること
 - ③看護師の免許を習得後、実務経験が通算5年以上あること
 - ④回復期リハビリテーション病棟での看護師としての勤務経験が受講日の時点で原則1年以上あること
 - ⑤施設長もしくは上司(受講者の実践を評価し活動支援を行う立場の役職者)の推薦があること
 - ⑥回復期リハビリテーション看護に対する強い意欲があること
 - ⑦全6回(合計18日間)を通して遅刻・欠席・中抜け・早退なく参加できること
- (Web開催の際に業務を行いながらの受講は禁止です)

注1 文中の「看護師」には准看護師は含まれません

注2 現在、回復期リハビリテーション病棟に必ず所属していること

注3 活動実践レポートは、当会会員病院、回復期リハビリテーション病棟にて実践を行い作成すること

⑤申込方法・受講結果<必ず事前にご確認をお願いします>

(1)申し込み方法*受付期間:2026年3月30日(月)11:00~2026年4月20日(月)まで

(上記期間に定員となった場合は、受付期間の延長はございません)

当協会の「研修会 WEB 申込システム(<https://rehabili.my.site.com/member/s/>)より申込受付をお願いします。(研修会システムは、当協会ホームページからも確認可能です。)

システム申込完了後に申込担当者メールアドレスに必ず受付完了メールが届きます。メールをもって、正式に受付完了となりますので、届かない場合は必ずご連絡ください。

(2)申し込み後の審査

・上記受付期間終了後に受講審査を行いますので、受講可否連絡までお待ち頂きますようお願いいたします。受講可否連絡は、受付期間終了後、約1か月後を目途にFAX(病院宛)にご連絡します。

・審査は、「先着順」ではございません。

申込の際に入力頂いた内容を総合的に見て、判断させていただきます。審査後の審査可否についての問い合わせには、いかなる理由があってもお答え出来かねますので、予めご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

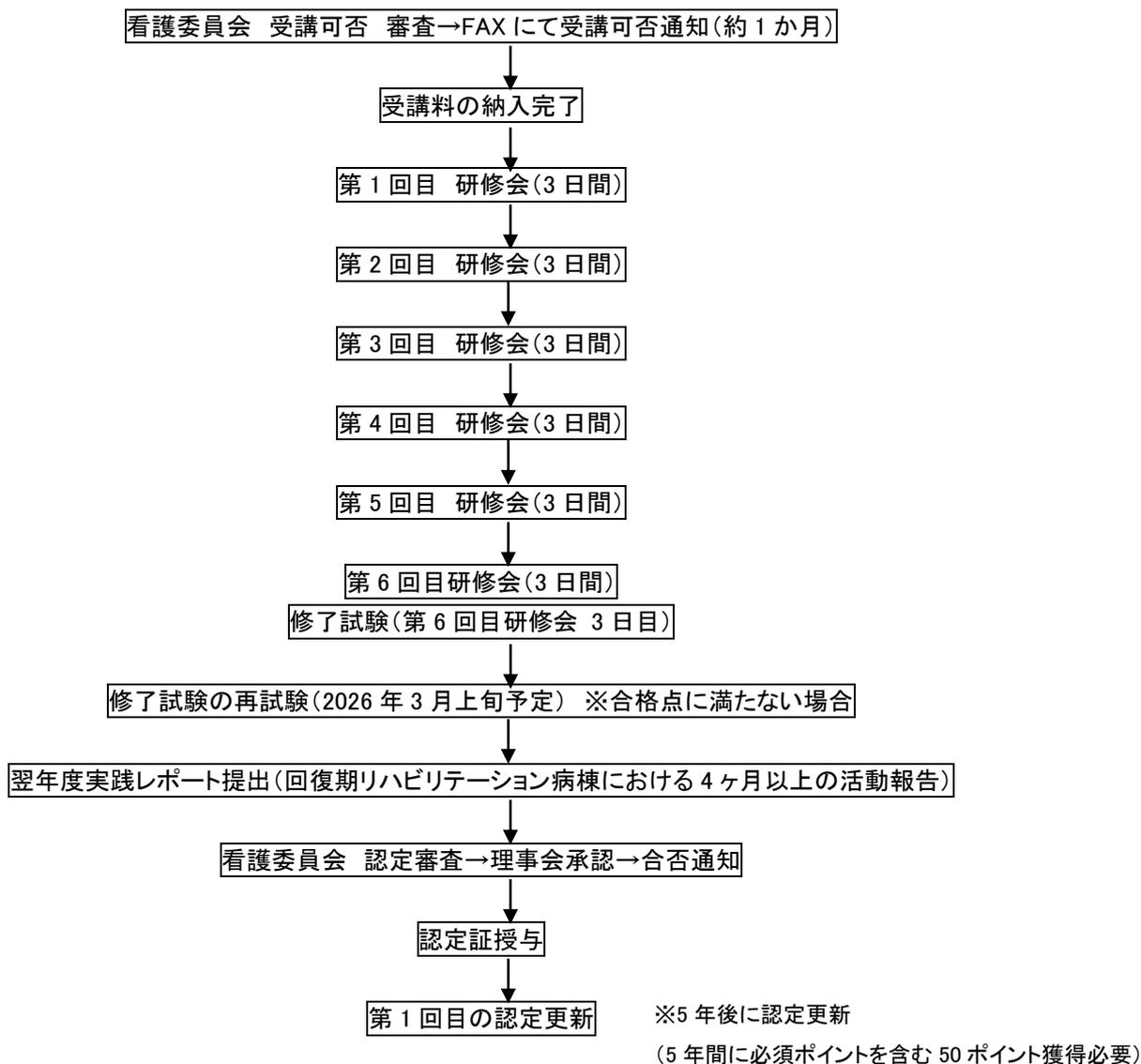
<重要:申込前の事前準備>

・「応募理由(受講の動機、認定後の意向)」につきまして、250~300文字程度で

上記システムに入力をお願いします。(事前にWord等で作成しておき、システムにコピー&ペーストすることをお勧めします)申込前にあらかじめ上長に推薦をもらった上でお申し込みをお願いします。

・推薦者の役職、お名前を入力も上記システムに入力が必要ですので、重ねてのお願いになりますが、必ず、病院内で推薦を頂いてからお申し込みをお願いします。なお、推薦文は不要です。

参考:回復期リハビリテーション看護師認定コース 認定までの流れ



参考：回復期リハビリテーション看護師認定コース 2025年度18期 講義実績（敬称略・順不同）

※2025年度18期の実績ですので、2026年度は予告なく変更になる場合があります。

講義タイトル	姓	名	講義タイトル	姓	名
回復期リハビリテーション病棟の役割と将来像	菅原	英和	口腔ケア	菊谷	武
リハビリテーションマインド	水間	正澄	人間関係論・対人関係の構築	三沢	良
回復期リハビリテーション病棟の「看護介護10か条」	岡本	真由美	地域包括ケアシステム推進に向けた看護師の役割	川越	雅弘
回復期リハビリテーション病棟の「看護5か条」	一宮	禎美	廃用症候群の理解	木村	紘到
人体のメカニズム	加辺	憲人	教育的関わりコーチング論	北浦	暁子
人体のメカニズム(福祉用具)	和仁	久見子	リハビリテーション期の家族看護 ～家族の理解と意思決定支援スキル～	山口	桂子
ICFとリハビリ看護に生かす視点	永見	茜	継続看護と地域連携	山本	詩帆
医療安全	渡邊	進	スキンケア	江幡	智栄
高次脳機能障がい者の理解と看護	市川	真	FIM評価	園田	茂
認知症の理解と看護	三浦	直子	身体拘束を最小限にする看護	田中	麻里子
回復期リハビリテーション病棟の「介護5か条」	磯部	香奈子	全身管理とリスクマネジメント	角田	賢
障害への反応と心の回復過程	粟生田	友子	医療施設における療養環境整備	寛	淳夫
高齢者の理解	山田	律子	急性期における脳血管疾患の看護	軽部	奈弥子
PT・OT・STの専門性	山中	誠一郎	抑うつ理解と看護	久保	博美
頭部外傷	中村	俊介	排泄障害の理解と看護	西村	かおる
呼吸器系疾患とリハ	神津	玲	脊髄損傷の理解	石原	健
看護介護10か条の実践状況と課題(グループワーク)	看護委員会		脊髄損傷患者の看護	道木	恭子
臨床倫理 倫理的課題の捉え方とアプローチ	稲葉	一人	現場に活かす活動実践 ー現状分析と課題解決ー	森河	琴美
摂食嚥下障害を有した人へのアプローチ	小澤	公人	社会制度	森戸	崇行
コミュニケーション論	森田	秋子	チームビルディングのために ～明日からできること～	堅田	由美子
回復期における栄養管理	福島	宏美	事例検討・事例発表	看護委員会	
回復期リハ対象の骨関節系疾患の理解	西村	一志			
回復期リハ対象の骨関節系疾患患者の看護	菅沼	里菜			
看護とリハビリテーションの考え方	酒井	郁子			
QOLの考え方と評価	酒井	郁子			
生活の再構築と自立支援	酒井	郁子			